

# 森林ビジネスの可能性

持続可能な森林管理とビジネスの両立を目指して

2017年3月17日(金)

14:00～17:00

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール5C



プログラム詳細  
/参加申込  
参加費無料

## 基調講演

### 「森林保全と非木材林産物—その重要性と可能性、課題—」

樫尾 昌秀

元国連食糧農業機関(FAO)

アジア太平洋地域事務所森林資源専門官

#### 林産物などを活用した 森林ビジネスモデルをご紹介します

- 途上国からの安定した原料調達のために、サプライチェーンを見直したい!
- 森林に依存する地域住民の生計向上に貢献したい!
- 環境保全のためのCSV活動をやってみたい!

…などの考えをお持ちの方のご参加をお待ちしています

主催：公益財団法人国際緑化推進センター

後援：独立行政法人日本貿易振興機構

協力：森から世界を変える REDD+ プラットフォーム



森から世界を変える  
REDD+

# 森林ビジネスの可能性

～持続可能な森林管理とビジネスの両立を目指して～

## 森林保全の必要性

森林は、木材、食糧、燃料、薬に加えて、気候変動対策など様々な機能をもっています。しかし、世界の森林は、毎年520万ヘクタール、日本の面積の約14%の規模で減少していると言われています。森林保全や森林の持続的な利用は、今日の大きな課題です。

## 森林ビジネスの提案

そこで、国際緑化推進センターは、森林保全や森林の持続的な利用と両立する、林産物を用いた森林ビジネスに着目しました。森林ビジネスによって、森林保全、森林の経済価値の向上や地域住民の生計向上などの多様な効果が期待されます。そのような森林ビジネスについて、森林減少が懸念される途上国を対象に、ビジネス化の可能性がある林産物の発掘、市場のニーズ把握、加工法の改善等を調査し、ビジネスモデルを提案しています。

(途上国森林ビジネスデータベース BFPRO: <http://jifpro.or.jp/bfpro/>)

## セミナーの目的

このセミナーは、森林ビジネスのビジネスモデルの紹介に加えて、実際に森林ビジネスに携わる企業やNGOが、森林ビジネス製品のマーケット力、ビジネス化にあたっての課題と解決策を紹介します。また、セミナー終了後に、海外でのビジネスや環境保全など、森林ビジネスに限らない様々な情報共有の場を提供します。

## セミナーの概要

- 平成29年3月17日(金) 14:00～17:00  
TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール5C
- 定員：50名(先着順)
- 参加費無料
- 林産物：サトウヤシ砂糖・ヒマラヤイラクサ繊維・マングローブエビ
- トピック
  - ◆ 各製品の日本マーケットでのニーズ
  - ◆ 森林ビジネスや林産物の日本マーケットでの訴求力
  - ◆ ビジネス化の課題と解決策
- 申込：<https://business.form-mailer.jp/fms/3bca006166810>

## 産品概要

- サトウヤシ砂糖
  - ▶▶ インドネシア産。地域住民による小規模生産。低GI食品としての健康食品。
- ヒマラヤイラクサ繊維
  - ▶▶ ネパール産。用途はカーペット、衣類、服飾雑貨などの繊維。
- マングローブエビ
  - ▶▶ インドネシア産。マングローブ林を伐採せずに養殖。